

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年7月17日(2014.7.17)

【公開番号】特開2014-97333(P2014-97333A)

【公開日】平成26年5月29日(2014.5.29)

【年通号数】公開・登録公報2014-028

【出願番号】特願2013-208789(P2013-208789)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月2日(2014.6.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

以上の課題を解決するため、請求項 1 に記載の発明は、
表面に制御用の電子部品が実装される制御基板と、当該制御基板を内部に収納するための
の基板ボックスと、を有する制御装置を備えた遊技機において、

前記基板ボックスは、

前記制御基板を収納するための閉止空間を画成する第 1 ケース部材及び第 2 ケース部材
と、

前記第 1 ケース部材と前記第 2 ケース部材とを前記閉止空間を画成する閉止状態で離反
不能に結合することが可能な封止手段と、

前記第 1 ケース部材と前記第 2 ケース部材とに跨って貼着される所定のシールと、を備
え、

前記封止手段は、

前記第 1 ケース部材と前記第 2 ケース部材とを結合するための先封止部と、

前記先封止部の結合の解除後に前記第 1 ケース部材と前記第 2 ケース部材とを再結合す
るための後封止部と、を備え、

前記先封止部は、

前記第 1 ケース部材に設けられる第 1 ケース先固着部と、

前記閉止状態において前記第 1 ケース先固着部と重合するように前記第 2 ケース部材に
設けられる第 2 ケース先固着部と、を有し、

前記後封止部は、

前記第 1 ケース部材に設けられる第 1 ケース後固着部と、

前記閉止状態において前記第 1 ケース後固着部と重合するように前記第 2 ケース部材に
設けられる第 2 ケース後固着部と、を有し、

前記先封止部と前記後封止部は、前記閉止空間に収納された前記制御基板の表面に沿う
第 1 方向に並んだ状態で前記閉止空間の外部に配設されており、

前記第 1 ケース先固着部と前記第 2 ケース先固着部及び前記第 1 ケース後固着部と前記
第 2 ケース後固着部は、前記第 1 方向とは直交する第 2 方向に沿って重合するよう設定さ
れてなり、

前記第 1 ケース先固着部と前記第 2 ケース先固着部との間に形成される第 1 重合境界と

、前記第 1 ケース後固着部と前記第 2 ケース後固着部との間に形成される第 2 重合境界とが前記第 2 方向にずれるように構成したことを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表面に制御用の電子部品が実装される制御基板と、当該制御基板を内部に収納するための基板ボックスと、を有する制御装置を備えた遊技機において、

前記基板ボックスは、

前記制御基板を収納するための閉止空間を画成する第 1 ケース部材及び第 2 ケース部材と、

前記第 1 ケース部材と前記第 2 ケース部材とを前記閉止空間を画成する閉止状態で離反不能に結合することが可能な封止手段と、

前記第 1 ケース部材と前記第 2 ケース部材とに跨って貼着される所定のシールと、を備え、

前記封止手段は、

前記第 1 ケース部材と前記第 2 ケース部材とを結合するための先封止部と、

前記先封止部の結合の解除後に前記第 1 ケース部材と前記第 2 ケース部材とを再結合するための後封止部と、を備え、

前記先封止部は、

前記第 1 ケース部材に設けられる第 1 ケース先固着部と、

前記閉止状態において前記第 1 ケース先固着部と重合するように前記第 2 ケース部材に設けられる第 2 ケース先固着部と、を有し、

前記後封止部は、

前記第 1 ケース部材に設けられる第 1 ケース後固着部と、

前記閉止状態において前記第 1 ケース後固着部と重合するように前記第 2 ケース部材に設けられる第 2 ケース後固着部と、を有し、

前記先封止部と前記後封止部は、前記閉止空間に収納された前記制御基板の表面に沿う第 1 方向に並んだ状態で前記閉止空間の外部に配設されており、

前記第 1 ケース先固着部と前記第 2 ケース先固着部及び前記第 1 ケース後固着部と前記第 2 ケース後固着部は、前記第 1 方向とは直交する第 2 方向に沿って重合するよう設定されてなり、

前記第 1 ケース先固着部と前記第 2 ケース先固着部との間に形成される第 1 重合境界と、前記第 1 ケース後固着部と前記第 2 ケース後固着部との間に形成される第 2 重合境界とが前記第 2 方向にずれるように構成したことを特徴とする遊技機。